

「つながる防災プロジェクト(2022-2023)」

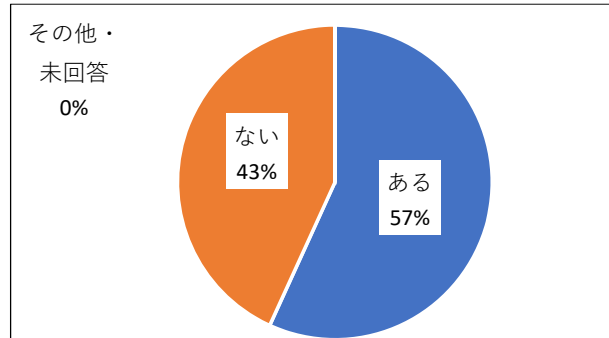
【臼井老幼の館】防災に関するアンケート集計結果

実施期間 令和4年12月1日～12月20日

回答数 44

1. 防災について家族で話し合ったことはありますか。

ある	25
ない	19
その他・未回答	0

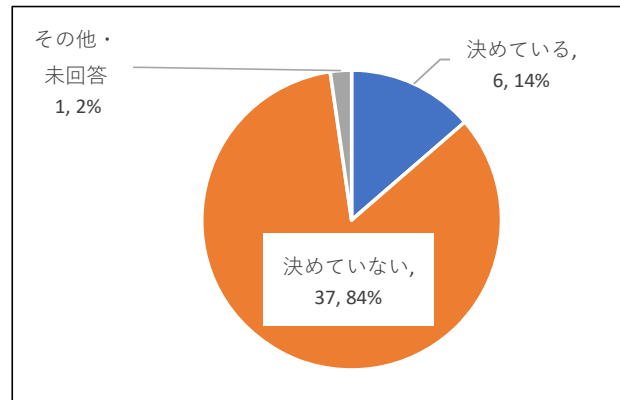


【どのようなことを話し合いましたか？】

避難場所・備蓄品について・ミルクやオムツ、離乳食の備蓄量や場所・職場にいるときの子どものお迎えについて・どこで待ち合わせにするのか（連絡がとれない時）等

2. 家族で安否確認の方法を取り決めていますか。

決めている	6
決めていない	37
その他・未回答	1

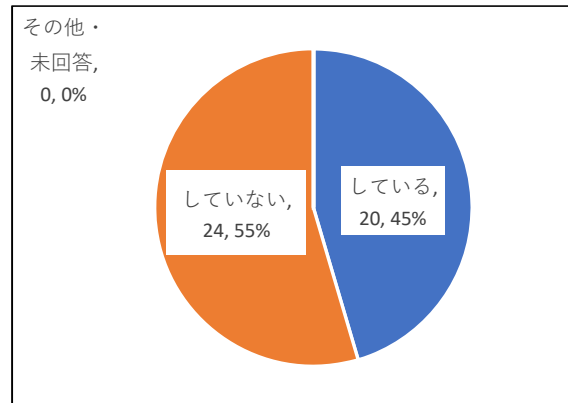


【どのような方法ですか】

電話がつながれば電話、つながらない場合は自宅又は祖父母の家に行く・災害ダイヤル、まずは避難場所へ集合・〇〇小学校に集合する・LINEと位置情報を確認するアプリ 等

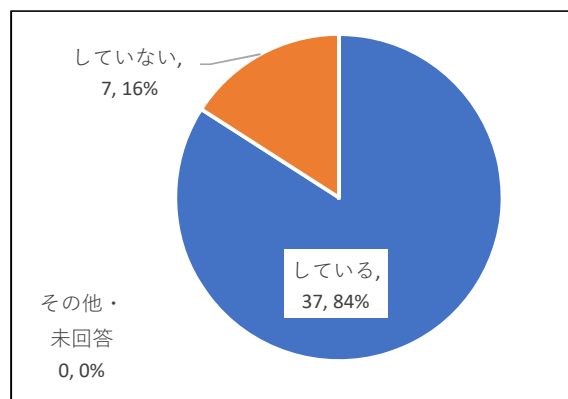
3. 非常用持ち出し袋を用意していますか。

している	20
していない	24
その他・未回答	0



4. 水や食料品等を備蓄していますか。

している	37
していない	7
その他・未回答	0

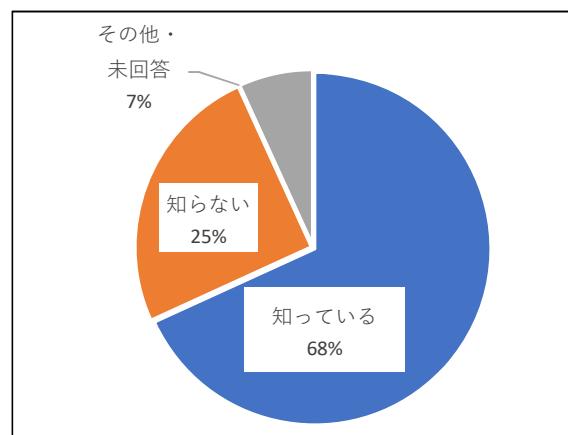


【何日分備蓄していますか】

1日分 (1件) 2日分 (2件) 3日分 (15件) 4日分 (1件) 5日分 (7件) 7日分 (5件)
計31件

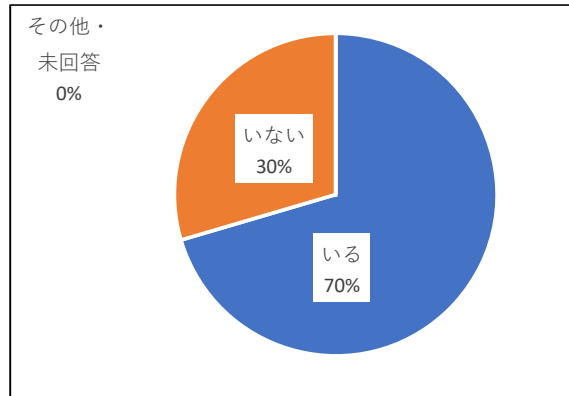
5. 指定緊急避難場所を知っていますか。

知っている	30
知らない	11
その他・未回答	3



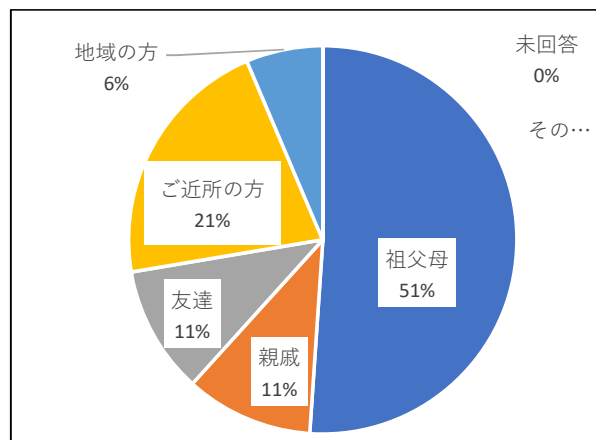
6. 災害のときに近くに頼れる人はいますか。

いる	31
いない	13
その他・未回答	0



*6. で「いる」と答えた方

祖父母	24
親戚	5
友達	5
ご近所の方	10
地域の方	3
その他	0
未回答	0



7. 災害に対する不安はありますか。どのようなことですか。

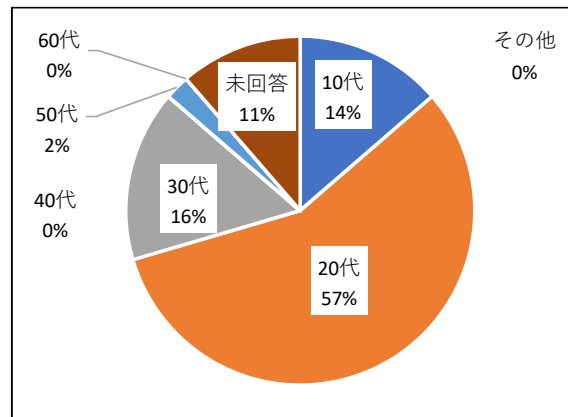
建物の耐震・家で過ごせるか・家族など知り合いが近くにいないので頼れる場所がない・準備を何もしていない・コロナに家族がかかった時備蓄品では数日しかもたないと感じた。災害で冷蔵庫等も使えなくなると思うと怖いと思う・その時とるべき行動がわからなくなりそうで不安・子供が不安にならず過ごせるかどうか・井戸水の場所なので電気が止まると水が使用できなくなる・ペットをつれての避難・家族の安否確認・育児に必要な普段の生活が送れるか 等

8. 2011年3月11日の東日本大震災の日あなたはどこで何をされてきましたか。

この日の体験を教えてください。

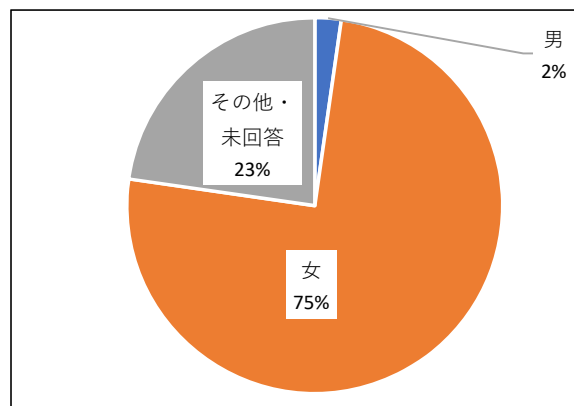
○当時の年齢

10代	6
20代	25
30代	7
40代	0
50代	1
60代	0
その他	0
未回答	5



○性別

男	1
女	33
その他・未回答	10



8. 2011年3月11日の東日本大震災の日あなたはどこで何をされておりましたか。

この日の体験を教えてください。

【自由記述】 ※順不同

- ・水族館の駐車場。家に帰る時、すごく時間がかかりました。
- ・飲食店で食事中
- ・当時四国在住。3月12日に大学入試予定だったが、交通手段が車のみになり、静岡までいったが動けなく（進まなく）なり、翌日帰宅。四国では直接的な影響は無かった。
- ・新宿で帰れずにいました。
- ・家族と車に乗っていました。家族でいたのでその点は安心でした。
- ・和歌山県で普通に生活していました。
- ・家にいた。
- ・千葉駅の近くで仕事中。
- ・仕事場にいました。業務に追われ、家族の安否確認できたのが19時頃で、ずっと心配しながら仕事を続けていたのが辛かったです。
- ・仕事中で、避難した。
- ・下宿先のマンションの部屋にひとりでした。すごくゆれて外から悲鳴がきこえてこわかった。
- ・学校がえりて電車に乗っていたので電車からなかなか出られず家に帰れなかった。
- ・東京で仕事中だった。ビルの7階くらいにいて怖かった。電車がとまり帰宅できたのは夜中だった。
- ・仕事をしていました。仕事は中断し、家族や友人の状況を確認して帰りました。
- ・家で犬と本を読んでいました。本棚の本が倒れてきて慌てました。
- ・会社のビルの中。同僚と緊急避難しました。電車がとまったので、歩いて帰宅して到着したら深夜の1時でした。
- ・自宅で息子(0歳)と2人だった。怖くて近くの祖父母の家へ行った。家の中は写真立て等が落下して壊れたが、被害はその程度だった。
- ・成田の空港通りのホテルで働いていました。長い揺れに「これは大きい地震だ」と思い、外に避難しました。お客様を外に誘導しつつ、次々にガラスドアが割れていき実家が東北で全く連絡がつかなかったのが不安でしたが、1週間くらいで連絡がついて実家のみんなが無事で安心したのを覚えています。
- ・コンビニで買い物中でした。
- ・職場で仕事をしていた。何度も余震があり怖くて寝られなかった。
- ・神田の職場で1晩職場に泊まりました。
- ・新宿で36階のビルで仕事をしていました。高層階はものすごく横ゆれをしてとても怖かったです。
- ・18Fのビルで仕事をしていました。階段で下まで降りるのが大変でした。電車は止まっていたので、バスを乗り継ぎましたが最寄り駅までは着かず、渋滞の中、家へ帰りました。
- ・虎ノ門で仕事をしていました。自宅がある市川まで帰れず会社に泊まりました。
- ・自宅にいた。
- ・都内のビルで仕事中。歩いて友人宅に行き休ませてもらったあと、バイクでむかえに来てもらい、渋滞の間をぬって印西に帰宅。
- ・仕事中でした。帰り道渋滞で混乱していました。

- ・大学生。液状化がひどかった船橋に買い物に行っていた。丸1日自宅に帰ることができなかった。
- ・職場のビルで仕事をしていた（成田）。その場で解散となり同期の車で1時間かけて送ってもらった。
- ・自宅で過ごしていました。
- ・仕事の休みの日で家にいた。
- ・東京に住んでいて、ビルの中の美容院にいました。途中でしたが駅前の広場に移動してじっとしていたことを覚えています。
- ・自宅にいた
- ・自宅にいました（春休み中だったため）
- ・大阪に勤務しており、工作中でした。大阪でもゆれたので遠方が震源だったこと、TVをつけたら津波の映像に衝撃をうけたことを覚えています。自身の生活に支障はでませんでした。被災した方を思うと今でも胸が痛みます。
- ・家にいた。両親は職場から帰ってこられなかったので、近所の人と夜は過ごした。
- ・小学校の教員をしていて、子どもたちと一緒に授業をしていました。
- ・自宅トイレにいました。
- ・新宿の35Fの高層ビルで机の下に隠れた。その日は帰宅できなかった。
- ・13階のビルで会社のテーブルの下でヘルメットをかぶり、余震に備えた（かなりのゆれ）
- ・仕事場
- ・お友達とランチ後の車の中でした。子供のむかえの時間も遅れていて不安そうだった。
- ・大学時代、大学近くの図書館にいた。浦安だったため液状化で電車が止まり、その日は帰れず友人宅にとまった。